

歴代会長

| | | | | | |
|----|--------|----|-------|----|------|
| 初代 | 中田 藤三郎 | 四代 | 鈴木 松久 | 七代 | 川上 進 |
| 二代 | 喜連 信義 | 五代 | 松本 又吉 | 八代 | 岸 恒夫 |
| 三代 | 中田 藤三郎 | 六代 | 岸 信吉 | 九代 | 岸 哲也 |

町会役員

| | | | | | |
|-------|-------|------|--------|------|-------|
| 会 長 | 岸 哲也 | 会計監査 | 小野田 武司 | 交通部長 | 高山 利夫 |
| 副 会 長 | 高山 郁朗 | 総務部長 | 押田 辰弥 | 防災部長 | 小野田 滋 |
| 副 会 長 | 岸 一章 | 婦人部長 | 井上 睦子 | 防犯部長 | 岸 靖朗 |
| 副 会 長 | 内田 光子 | 青年部長 | 阿部 敏和 | 少年部長 | 山本 充男 |
| 会 計 | 伊藤 賢一 | 文化部長 | 武藤 弘信 | | |

10年後の町会に向けて

東中野五丁目小滝町会は戦前の小滝町会の流れを引き継ぎながら昭和29年11月に再結成され、現在に至ります。

古い地図によりますとこの地域は神田川に沿って水路や水車の表記もあり、川を見下ろす丘陵に稲荷神社も祀られていることから、かつては水田の広がる農耕地帯だったことがうかがえます。

のどかな田園風景も中央線の開通と共に郊外の住宅地として開発が進み、現在の世帯数は2,500世帯を超えるようになりました。交通の至便な土地として最近は大規模マンションの建設が続き、人口はここ数年で大きく増加しています。住民の年齢構成は30歳代までの若年層が中野区の平均より多いのですが、長く住み続ける人は少ないことと、50歳前後の世代の住民の減少が統計ではっきりしており、今後の地域の活動を考えると心配な点になります。

加えて東中野地域は小中学校の統廃合の影響を大きく受け、東中野小学校に続いて第三中学校も地域から姿を消すこととなります。

このように現代の都会の地域社会の典型的な課題をいくつも抱えている町会ですが、町会の本来の目的である仲の良いまちづくりを目指すために、今までとは違った角度から取り組むように工夫を始めています。例えば新しく住み始める若い世代が多いという事は、町に対して新鮮な好奇心を持っている人が多いということでもあります。そこで町会は区民活動センターの事業や地域の放課後子ども教室事業と協力して、地域で新しい出会いを広げる多様な事業を積極的に行っています。地域を新しい住民の人たちに紹介する町歩きや、地域の人が講師になって行う講座は新しい出会いと参加のかたちを生み出しています。

このような人と人を結ぶ事業はとても好評で、希望者が多く抽選になることもあります。そして様々な事業の背後には町会の存在があることも知られるようになってきました。

一つ一つの事業を積み重ね、心を開いて人々が出会い、参加をする多様な機会を作っていく。出会いを楽しみ、共感を広げ、あえてゆるいつながりを重ねていく。10年後の町会の姿を思い描きながら、これからも新たな活動に挑戦していきたいと思えます。



氷川神社の祭礼に集まった町の仲間たち